

製品名: AKAP 14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06720**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	AKAP14
別名	AKAP14; AKAP28; A-kinase anchor protein 14; AKAP-14; A-kinase anchor protein 28 kDa; AKAP 28; Protein kinase A-anchoring protein 14; PRKA14
遺伝子 ID	158798.0
SwissProt ID	Q86UN6
免疫原	抗血清はヒト AKAP14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

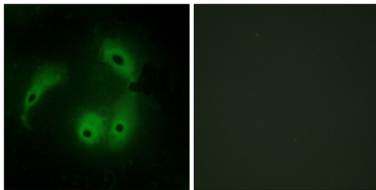
背景

A キナーゼアンカータンパク質 (AKAP) は、構造的に多様なタンパク質群であり、タンパク質キナーゼ A (PKA) の調節サブユニッ

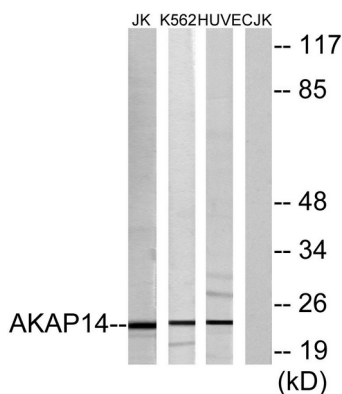
トに結合し、ホロ酵素を細胞内の特定の位置に固定するという共通の機能を有する。この遺伝子は AKAP ファミリーのメンバーをコードしている。このタンパク質は PKA を繊毛軸系にアンカーし、繊毛拍動頻度の調節に関与している可能性がある。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要がある。、機能：タンパク質キナーゼ A の II 型調節サブユニットに結合し、それらをアンカー / 標的とする。、サブユニット：II 型調節サブユニット (RII) に結合する。、組織特異性：繊毛に存在 (タンパク質レベル)。軸系を基盤とする細胞小器官 (繊毛および / または鞭毛) を含む組織 (気管および精巣) で発現する。気道繊毛で特に高発現する。

研究分野

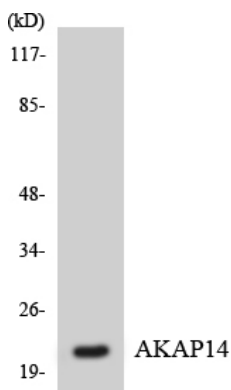
画像データ



AKAP14 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



AKAP14 抗体を用いた Jurkat 細胞、K562 細胞、および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



AKAP14 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

AKAP 14 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

